



## と玉の文化 石の文化

# 注目を集める石文化 伝統を継承しながら

## 次の未来へ

### 「花坂陶石」が支える九谷焼

九谷焼と言えば、一般的に南加賀で制作される色絵磁器を指します。しかし「花坂地区で発見された陶石を使わないと真の九谷焼ではない」とこだわる専門家がいます。九谷焼を語る上で欠かせないものが花坂陶石です。

明治期に欧米で「ジャパンクタン」と称賛された九谷焼にも花坂陶石が用いられており、古くから優れた陶石として認められていました。この陶石もまた、地下の流紋岩が熱水作用によって風化した産物であり、小松の石文化の一翼を担う存在です。

花坂陶石を細かく粉碎し、不純物や水分を取り除く作業を経て、上質な九谷焼陶土（はくと）が完成します。この工程によって出来上がった陶土が、多くの人々を魅了する九谷焼作品を生み出

す源となります。

市内の九谷焼製土所では、昔ながらの工程による陶土づくりが脈々と受け継がれ、伝統工芸九谷焼の美と技を生み出す土台を支えています。

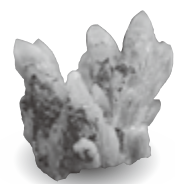
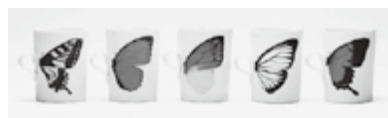


▶土練の様子（脱水後、土の中にある空気を抜きながら練り上げる最終工程）

谷口製土所  
ブランドマネージャー 谷口浩一さん

九谷焼と聞けば、美しい色彩の絵付けを思い浮かべる人も多いですが、それも陶土があってこそ。花坂陶石と陶土づくりは私達の誇りです。これからも技術を継承していきます。

◀谷口さんが立ち上げた自社ブランド「HANASAKA」の陶磁器マグカップ



### まちを活性化させるこまつの石文化遺産

江戸後期から大正初期にかけて、金平や尾小屋、遊泉寺では金・銅の鉱物の採掘が行われ、小松と言えば「鉱山で栄えたまち」として全国の脚光を浴びていました。当時の鉱山業の恩恵は、ものづくりや機械技術の発展につながり、当時をしのばせる跡も数多く保全されています。

鉱山跡のほかにも、石切り場跡や石垣、石蔵、石橋のように市内には

数多くの石の文化遺産が存在しています。市では、先人が残した石資源群を市民の絆と地域のネットワークを生かしながら、ストーリー性を持った観光資源としての活用に取り組んでいます。

## TOPICS

### 中山間地の3町が団結！ 地域主体で資源活用へ

石の文化遺産が数多く現存する鶴川、遊泉寺、立明寺の3町が一体となって、地域の活性化を目的とする「うゅうりつ鶴遊立地域活性化委員会」を設立しました。

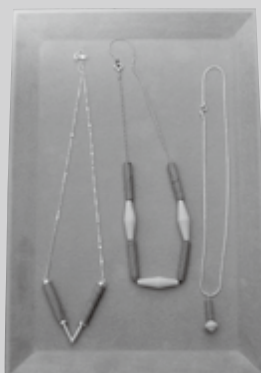


遊泉寺銅山跡記念公園を始めとした、3町の豊かな自然や史跡を生かし、集客向けの環境整備やイベントなどを企画していきます。

鶴遊立地域  
活性化委員会  
委員長 西尾皓史さん

## こまつ「珠玉と石の文化」展

会期 5月3日（火・祝）～8日（日）  
時間 10時～17時（最終日は16時まで）  
ところ サイエンスヒルズこまつわくわくホール  
観覧料 無料



試作アクセサリー（一部）

こまつの多彩な「石の文化」がまとめて見られる企画展を、ゴールデンウィークにサイエンスヒルズこまつで開催します。八日市地方遺跡の碧玉製の玉つくり資料を始め、小松の石材や鉱物、女性デザイナーが試作したアクセサリーの発表会、更には子供から大人まで楽しめるすごろくゲームコーナーなど、盛りだくさんの内容です。

